

経営者保証

ツッコミ質問

税額の軽減対策



経営者保証が事業承継の妨げとなる理由として
どのようなことが考えられますか？

経営者保証とは、金融機関から融資を受けるときに、経営者個人が連帯保証人となることです。経営者保証をそのまま後継者が引き継ぐことになった場合、会社が倒産したときには、経営者が借入金を返済しなければなりません。会社の債務について、後継者が無限責任を負うのと近い状態になってしまうため、経営者保証が事業承継の妨げとなります。



事業承継に際して、経営者保証を提供している場合の 解決策を説明してください

経営者保証の解決策として、経営者保証に関するガイドライン、及び特則の内容をよく検討し、会社を整備することで、経営者保証なしの融資を検討します。



事業承継に際して、経営者保証を提供している場合の 解決策を説明してください

ガイドラインの適用対象は、主債務者が中小企業であること。
保証人が個人であり、主債務者である中小企業の経営者であること。
主債務者である中小企業と、保証人であるその経営者が、弁済に誠実で、債権者の請求に応じて負債の状況を含む財産状況を、適切に開示していること。
主債務者と保証人が反社会的勢力ではなく、そのおそれもないことです。



事業承継に際して、経営者保証を提供している場合の 解決策を説明してください

ガイドラインに適用する経営状況であれば、既契約の融資についても、事業承継の際や、融資条件の見直し、借り換えなどの際に考慮されることになり、経営者保証なしでも、融資を受けられる可能性が高まります。